



人と自然が温かく歓迎する 北の隠れ家

東大雪ぬかびらユースホステル

1955年にダム建設によってつくられた糠平湖



1



2

①「オープンして20年近く経ちますが、毎日出会いと再会があり、飽きることがないです」と話す塩崎マネージャー ②タウシュベツ川橋梁は、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋の中でも代表的

元ホステラーが真心でもてなす

“なんとなく居心地のいい宿”

十勝地方の北部に位置する上士幌町(かみしほろちょう)。豊かな自然に恵まれ、町内の76%を山林が占める。その恩恵を受けて古くから農業や林業が盛んで、また知る人ぞ知る観光地でもある。源泉かけ流し温泉のぬかびら源泉郷、糠平湖の水かさに合わせ姿を見せるタウシュベツ川橋梁、大雪山国立公園内にあるスキー場などを有する北海道の穴場スポットだ。学生時代の一人旅を機に、この地に惚れ込んだ塩崎健マネージャー。「旅人の手助けをしたい」と脱サラしてユースホステルをオープンしたのは1997年のことだ。

「私自身、旅が大好きで、大学生の頃は自転車で北海道を回っていました。そのときに情報交換や人との出会いの場となったのが、ユースホステル。今度は自分がそんな場を提供していきたいという想いがあり、創業しました」。塩崎マネージャーが目指すのは“なんとなく居心地のいい宿”。温かい会話や心休まる空間で旅を盛り上げ、旅の疲れを癒し、旅人同士の交流を手伝う。「『また来たい』と言われることが一番うれしい。『ここで出会った人と結婚しました』なんて話を聞くと、『やっていてよかった!』と心から思いますね」。そう目を細めて語る塩崎マネージャーに、“なんとなく居心地のよさ”を感じた。



DATA

東大雪ぬかびらユースホステル

〒080-1403

北海道河東郡上士幌町ぬかびら源泉郷

Phone : 01564-4-2004

Web : <http://www.d1.dion.ne.jp/~nukabira/>

心づかいとチェックイン後の
楽しみに満たされ
何度でも来たくなる場所となる

“なんとなく居心地のいい宿”。そのコンセプトはまず、食事に表れている。連泊客への配慮として、和食と洋食を交互に提供。近隣農家で採れる旬の野菜や新潟の親戚から取り寄せる米を使った、どこかホッとさせる家庭料理は、ドレッシングやデザートも手づくり。さらに食後は近隣の美しい風景写真をテレビで上映し、周辺スポットを紹介することも。こうした小さな心づかいから、食事の時間はいつも和やかな空気が流れている。加えて、「旅の癒しになれば」と10年前に引いたかけ流し温泉、漫画とお茶が置かれた談話室、その上のロフトを使った読書室などの共用スペースを用意。チェックイン後の時間をリラックスして過ごしてもらうための工夫だ。

「一番大切にしていることはお客様に寄り添うこと。食事の感想をお聞きしたり、一人ひとりとコミュニケーションをとるようにしています」。宿泊客の7割はリピーター。ここで出会った宿泊客同士が集って訪れることも多く、毎年ここでお正月を楽しんでいく人もいます。塩崎マネージャーの想いが確実に届いているのだ。



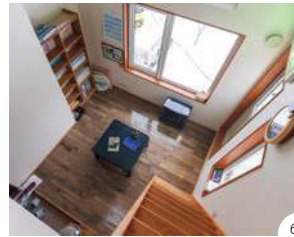
3



4



5



6



7

- ③食堂も共用スペースとして開放している
- ④やわらかく、重曹分を含む湯で、肌にやさしい温泉
- ⑤宿泊客のリクエストでメニューを考案することも
- ⑥談話室は、宿泊客が集い会話を楽しむ憩いの場
- ⑦談話室の上は読書室。ロフトの階段を上がるワクワク感がたまらない
- ⑧東大雪ぬかびらユースホステルの周辺は、壮大な自然が広がる



8

旅を通じた偶然の出会い 一生の宝物となる

「上士幌町」と聞いてもピンとこないでしょ。ここは北海道の中でも、決して知名度が高くないんです」。知床などへ向かう道すがら、旅の中継地点として立ち寄ることが大半。それもメインは夏期。冬期の一見客は、スキーやスノーボードの大会出場を目的とすることが多い。

そんな人たちに周辺スポットを存分に満喫してもらうべく、塩崎マネージャーはいくつかのイベントを行っている。星空が一望できる露天風呂やガイドの紹介、オンシーズンには自らツアーを組むこともある。サイクリング、糠平湖周辺の散策、紅葉狩りと、四季折々の上士幌町を楽しんでもらう。中でも好評なのが、湖の上で行う歩くスキーとワカサギ釣り。雪の白さと空の青さだけが視界に広がり、非日常的な空間に身を置くことができる。また自分で釣った新鮮なワカサギの味も格別だ。こうした体験も、「また来たい」と思わせる要因の一つとなるのだろう。

「自分が宿をはじめきっかけとなったように、旅は視野を広げ後の人生に影響を与えることもあります。だから、偶然でもここを訪れた人にはなにかを得てもらいたい」。壮大な自然にふれ、開放的な気分になれば、自然と参加者同士の会話が弾む。また同じ体験をすることで、一体感も生まれるだろう。塩崎マネージャーが心と経験でもてなす東大雪ぬかびらユースホステルは、旅を通じた感動と人との出会いがある場所だ。



⑨釣ったワカサギを夕食として食べるのも楽しみの一つ ⑩東大雪ぬかびらユースホステルでは、自転車の貸出もしている ⑪10月に入ると紅葉がはじまり、山々が赤や黄色に輝く



⑫暖かい季節は登山客も。若者はもちろん年配の人にも人気 ⑬宿から車で30分の然別湖(しかりべつこ)では、春から秋にカヌーを楽しむことも

Sightseeing guide map

塩崎さんのオススメスポット



• Lake Nukabira •
糠平湖

昭和30年にダム建設によってつくられた、面積約8.2km²の人工湖。水位が低いときだけ現れる「タウシュベツ川橋梁(通称:めがね橋)」をはじめとする、素晴らしい景色に出会える場所。夏はフライフィッシングが楽しめ、冬はワカサギ釣りの人でにぎわう。



• Higashitetsu Nature Center •
ひがし大雪自然館

「環境省ぬかびら源泉郷ビジターセンター」と「上士幌町ひがし大雪博物資料館」からなる複合施設。自然や観光などの地域情報を発信し、地元特産品の販売も行っている。

(問) ひがし大雪自然館
TEL : 01564-4-2323



• Ikoino teyu •
憩いの手湯

郵便局の入り口に設置された足湯ならぬ手湯とは、全国でも珍しい光景だろう。土地に関係した切手や小包も取り扱っているため、寒い日はかじかんだ手を温めてから中へ。

(問) ぬかびら源泉郷郵便局
TEL : 01564-4-2200



• Mitsumatasansou •
三股山荘

十勝三股にあるログハウスの喫茶店。コーヒー、紅茶のほか、地元の食材を使った手作りの食事メニューも人気。木のぬくもりを感じながら、ゆったりとしたひとときを。

(問) 三股山荘
TEL : 01564-4-2165



• Gallery Shop Tokachiishi •
ギャラリーショップ
十勝石

火山活動によって生まれた「十勝石(黒曜石)」は、マグマが急冷してできた天然のガラス。当ギャラリーでは、彫刻やアクセサリーなど約50種の工芸品を加工・販売している。

(問) ギャラリーショップ十勝石
TEL : 01564-2-2165



• Heiwaen Shiboro Shop •
平和園 土幌店

十勝の新鮮で安全な肉を、昔ながらの「一丁付け」で提供する焼肉店。日本で初めて焼肉スタイルのジンギスカンを提供しただけあり、看板メニューはなんとといってもジンギスカン。

(問) 平和園 土幌店
TEL : 0155-43-2363

